

令和4年度の防災事業の実績（見込）等について

I 令和4年度の防災事業の実績（見込）について

1 非常用備蓄食糧等の整備 (決算見込：4,173 千円)

食糧及び生活必需品備蓄

| 区分 | 購入数 | 4年度末 | 目標値 |
|------------------|-------|--------|--------|
| 災害救助用クラッカー（食） | 9,100 | 42,000 | 55,510 |
| ビスコ（食） | 4,500 | 18,600 | 26,100 |
| おこげ（食） | 1,800 | 10,800 | 10,800 |
| おかゆ（食） | 2,400 | 7,040 | 14,240 |
| 液体ミルク（240ml）（本）※ | 720 | 630 | — |
| 飲料水（500ml）（本） | 2,880 | 18,096 | — |
| 毛布（枚） | — | 16,062 | — |
| 紙オムツ（大人・小人）（枚） | — | 8,200 | — |
| 生理用ナプキン（枚）※ | 8,400 | 16,912 | — |

※液体ミルク及び生理用ナプキンは令和3年度から購入。

○目標値の考え方

| | |
|--|--|
| 令和5年1月1日現在 人口 69,172人 目標値の算出基準 人口 69,500人 | ① 避難者を全人口の30%、熱源使用不能状態が2日間続くと想定。 ② 必要とされる初期応急食糧数量（2日間のうち最初の1食は発災直後であり考慮せず、2日間で5食とした。）104,250食に帰宅困難者対応分2,400食（800人×3食）を加え合計106,650食を備蓄目標に設定。 【飲料水・米・生活必需品については、麒麟麦酒㈱を始め19事業所と協定を締結】 |
|--|--|

2 耐震診断・改修費等補助事業

(決算見込：診断520千円、改修2,000千円、住宅除却600千円、耐震シェルター0千円、ブロック塀等撤去409千円)

■耐震診断

| 令和4年度 | |
|-------|-------|
| 件数 | 決算見込 |
| 11件 | 520千円 |

実績

| 年度 | 件数 |
|--------|-----|
| 平成30年度 | 17件 |
| 令和元年度 | 14件 |
| 令和2年度 | 22件 |
| 令和3年度 | 12件 |

■耐震改修

| 令和4年度 | |
|-------|---------|
| 件数 | 決算見込 |
| 2件 | 2,000千円 |

実績

| 年度 | 件数 |
|--------|----|
| 平成30年度 | 1件 |
| 令和元年度 | 2件 |
| 令和2年度 | 2件 |
| 令和3年度 | 2件 |

■住宅除却

| 令和4年度 | |
|-------|-------|
| 件数 | 決算見込 |
| 3件 | 600千円 |

実績

| 年度 | 件数 |
|--------|----|
| 平成30年度 | 1件 |
| 令和元年度 | 5件 |
| 令和2年度 | 3件 |
| 令和3年度 | 7件 |

■防災ベッド … 申請なし

実績

| 年度 | 件数 |
|--------|----|
| 平成27年度 | 1件 |

■耐震改修相談会

令和4年11月28日（月）

実施

■耐震シェルター … 申請なし

実績

| 年度 | 件数 |
|-------|----|
| 令和3年度 | 1件 |

■ブロック塀等撤去

| 令和4年度 | |
|-------|-------|
| 件数 | 決算見込 |
| 5件 | 409千円 |

実績

| 年度 | 件数 |
|--------|-----|
| 平成30年度 | 13件 |
| 令和元年度 | 10件 |
| 令和2年度 | 10件 |
| 令和3年度 | 8件 |

3 空家解体促進費補助事業

(決算見込 2,200 千円)

■空家解体促進費補助金

| 令和4年度 | |
|-------|---------|
| 件数 | 決算見込 |
| 9件 | 1,800千円 |

実績

| 年度 | 件数 |
|-------|-----|
| 令和元年度 | 6件 |
| 令和2年度 | 8件 |
| 令和3年度 | 11件 |

4 職員による訓練

■水防訓練

【日時】令和4年6月12日（日）午前9時から10時30分まで

【内容】土のう造り（積土俵工及び月の輪工）

■総合防災訓練

【日時】令和4年9月3日（土）午前8時30分から11時30分まで

【内容】非常呼集訓練、避難所開設訓練、給水訓練、救護所開設訓練、炊き出し訓練、避難誘導訓練、災害ボランティア本部設置訓練、瓦礫除去訓練、倒壊家屋等からの救出訓練、ヘリコプターによる救出訓練 等

5 地域防災リーダー養成講座

■新規講座（修了者：66名）

○第1回 令和4年5月8日（日）

【講師】認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事 浦野 愛 氏

【内容】講義「水害時の対応について考えよう」

グループワーク「防災に関する意見を共有しよう」

○第2回 令和4年5月14日（土）

【講師】気象予報士 土井 邦裕

【内容】防災講演会「水害から身を守るために」 ※受講者以外の市民も参加

○第3回 令和4年7月3日（日）

【講師】認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事 浦野 愛 氏

【内容】講義「災害から命と尊厳と活力を守るために避難所運営の知恵袋」

グループワーク「避難所運営で不安なこと・課題」

■フォローアップ講座（受講者：32名）

- 第1回 令和4年5月14日（土） 防災講演会 ※受講者以外の市民も参加
- 第2回 令和4年11月6日（日）
 - 【講師】認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事 浦野 愛 氏
 - 【内容】講義「新型コロナ感染症における避難所運営のポイント」
グループワーク「避難所運営のポイントを学ぶ」（実地訓練）

6 地域の自主防災訓練実績（令和5年1月13日時点）

| 地区 | 実施町内会数 | ブロックでの実施 | 参加者数※ |
|------|--------|----------|---------|
| 西枇杷島 | 0 町内会 | 4 ブロック | 355 人 |
| 清洲 | 2 町内会 | 6 ブロック | 482 人 |
| 新川 | 1 町内会 | 5 ブロック | 343 人 |
| 春日 | 0 町内会 | 2 ブロック | 174 人 |
| 合計 | 3 町内会 | 17 ブロック | 1,499 人 |

※実績報告書が未提出のブロック等については、参加予定人数を計上。

【主な訓練内容】
 避難訓練、初期消火訓練、AEDを使用した救命訓練、三角巾による応急手当訓練、簡易担架を使用した救急訓練、防災資機材の点検、ハザードマップの確認、要支援者に対する避難情報伝達訓練、煙体験ハウス、地震体験車 など

7 自主防災組織強化事業

- 自主防災組織補助金 （決算見込 ハード3,378千円、ソフト22千円）
 申請数（令和5年1月13日現在） 27件（21ブロック）
 - 【内訳】防災資機材購入事業（ハード事業） 申請数 26件（20ブロック）
 - 自主防災組織活性化事業（ソフト事業） 申請数 1件（1ブロック）
 ※ハード事業・ソフト事業を両方活用したブロック…なし

- 消火器の消火薬剤詰め替え費補助金 （決算見込 282千円）
 申請数（令和5年1月13日現在） 14件

8 治水対策事業

- 雨水ポンプ場改築事業 （決算見込 452,100千円）
 ポンプ場の改築及び更新のための工事を行った。
 - 堀江ポンプ場：改築及び更新工事 決算見込 92,000千円
 - 豊田川ポンプ場：改築及び更新工事 決算見込 360,100千円

- 幹線管渠整備事業 （決算見込 418,045千円）

| 区分 | 計画延長 | 令和4年度 |
|----------|-------------------------|--|
| 土田排水区 | □2.4m×1.2mほか L=約484m | 土田幹線整備工事（L=約50m）、付帯工事（側溝移設など）、占用物件移設補償 |
| 水場川右岸排水区 | □2.7m×2.7mほか L=約300m | 水場川右岸第1幹線整備工事（L=約42m）、占用物件移設補償 |

- 清洲橋架け替え事業【県事業】
橋台躯体工及び埋蔵文化財発掘調査を行った。

- 枇杷島橋架け替え事業【県・名古屋市事業】
令和5年度の仮橋への切り替えを目標とし整備を進めた。

9 公共施設等の耐震化事業

- 橋梁維持費 （決算見込 83,380千円）
令和3年度に詳細設計を行った新川小橋右岸の耐震補強及び補修工事を行った。

10 避難所関連事業

- 学校屋内体育施設空調設備設置事業 （決算見込 1,107,528千円）
近年の災害的猛暑に対し、児童・生徒、災害時においては避難者が快適に過ごせるように、全小・中学校の屋内体育施設に自家発電設備を備えた空調設備を設置した。

11 防災センター整備事業

- （仮称）五条川防災センター整備事業 （決算見込 55,023千円）
五条川の右岸側の清洲庁舎跡地に指定緊急避難場所、指定避難所及び防災資機材等備蓄施設としての機能を有する防災センターを整備するため、整備に係る実施設計及び埋蔵文化財発掘調査を行った（令和5年度末の竣工予定）。

12. 高潮・内水ハザードマップの作成 （決算見込 1,507千円）

- 水防法に基づき、想定し得る最大規模の高潮・降雨に対応した浸水想定等を適切に周知するために、高潮・内水ハザードマップを作成した。

Ⅱ 令和5年度の防災事業の方向性について

【ハード事業】

1 治水対策事業

- 雨水ポンプ場改築事業として、堀江ポンプ場及び豊田川ポンプ場の整備を推進する。
- 雨水幹線管渠整備事業として、土田排水区及び水場川右岸排水区の幹線管渠整備を推進する。
- 清洲橋及び枇杷島橋の架け替え事業を推進する。

2 公共施設等の耐震化事業

- 令和3年度に詳細設計を行った新川小橋左岸の耐震補強及び補修工事を実施する。
- 春日学校橋の耐震補強及び補修工事を行うための実施設計を行う。

3 防災センター整備事業

- (仮称)五条川防災センター整備のために、支障となる既存施設の撤去・解体を行い、速やかに防災センター新築工事に着手する。

【ソフト事業】

1 自主防災組織強化事業

- 市内各ブロックの自主防災活動の活性化を図るため、令和3年度～令和5年度の3か年のサイクルで自主防災組織への補助を行う(防災資機材購入や手づくりハザードマップの作成などが対象)。

2 水防訓練・総合防災訓練・地域防災リーダー養成講座

- 新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施する。
水防訓練：6月11日(日)
総合防災訓練：9月2日(土)
地域防災リーダー養成講座：講座3回、フォローアップ講座2回

3 耐震診断・耐震改修等事業

- 民間木造住宅の耐震診断、民間木造住宅の耐震改修への補助、民間木造住宅除却への補助により、民間木造住宅の耐震化率の向上を図る。
- 災害時における避難路の確保や減災、安全確保を目的として、民間ブロック塀等の撤去への補助を行う。
- 老朽化による危険な空家等の解消を図るため、倒壊又は建築材等の飛散のおそれのある危険な空家等の解体への補助を行う。

4 備蓄物資の整備

- 106,650食を目標に、引き続き食料の備蓄を実施する。購入にあたっては、より長期保存が可能な品目等の購入を検討する。